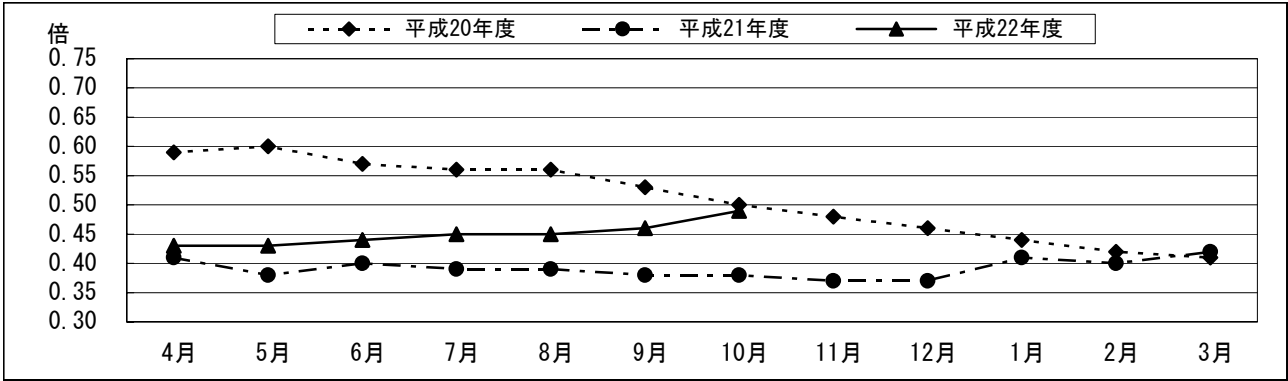


有効求人倍率の推移（季節調整値）



職業紹介主要指標

項 目		22年 10月	22年 9月	前月比 (差)	21年 10月	前年同月比 (差)		
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	7,045	7,490	▲ 5.9	7,156	▲ 1.6		
	2. 月間有効求職者数	29,046	29,827	▲ 2.6	30,432	▲ 4.6		
	3. 新規求人数	6,093	6,228	▲ 2.2	5,231	16.5		
	4. 月間有効求人人数	14,908	13,934	7.0	12,141	22.8		
	5. 紹介件数	12,426	13,887	▲ 10.5	13,839	▲ 10.2		
	6. 就職件数	2,804	2,675	4.8	2,459	14.0		
	7. 充足数	2,641	2,537	4.1	2,320	13.8		
	比率	8. 有効求人倍率(倍)	季調値	0.49	0.46	0.03	0.38	0.11
			原数値	0.51	0.47	0.04	0.40	0.11
		9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	39.8	35.7	4.1	34.4	5.4	
	10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)	43.3	40.7	2.6	44.4	▲ 1.1		
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	2,590	2,622	▲ 1.2	2,493	3.9		
	12. 月間有効求職者数	11,983	12,154	▲ 1.4	12,584	▲ 4.8		
	13. 紹介件数	4,576	4,925	▲ 7.1	4,503	1.6		
	14. 就職件数	992	800	24.0	743	33.5		
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	38.3	30.5	7.8	29.8	8.5		
雇用 保険	16. 適用事業所数	19,468	19,456	0.1	19,332	0.7		
	17. 被保険者数	269,531	269,422	0.0	262,809	2.6		
	18. 離職票提出件数	1,893	1,823	3.8	2,154	▲ 12.1		
	19. 受給資格決定件数	1,734	1,668	4.0	1,972	▲ 12.1		
	20. 受給者実人員(所定内)	7,351	8,093	▲ 9.2	9,677	▲ 24.0		
	21. 総支給金額(千円)	846,060	1,017,438	▲ 16.8	1,247,250	▲ 32.2		

10月の雇用の動き

求職者1人当たりの有効求人人数を示す平成22年10月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月を0.03ポイント上回り0.49倍となった。

【有効求人】は、(季節調整値)前月比で6.8%増、前年同月比で22.8%増(8か月連続)、
 【有効求職】は、(季節調整値)前月比で0.1%増、前年同月比で4.6%減(7か月連続)、
 【新規求人】は、前年同月比で16.5%増(8か月連続)、【新規求職】は同1.6%減(6か月ぶり)となった。

【新規求職者数】は、一般3.3%(173人)減、パート3.3%(62人)増、全体で1.6%(111人)減となった。
 “パートを除く常用求職者”を求職時の態様別にみると、事業主都合離職者は18.0%(264人)減で11か月連続、自己都合離職者は5.8%(128人)減で2か月連続の減少となった。一方、無業者は23.3%(92人)増で20か月連続、在職者は16.7%(161人)増で9か月連続の増加となった。また、常用求職者を職業別にみると、サービスの職業は6.9%(47人)減で23か月ぶりの減少となった。事務的職業は2.5%(41人)減で8か月ぶり、保安の職業は36.4%(16人)減で2か月ぶりの減少となった。一方、農林漁業の職業は8.4%(9人)増で3か月ぶりの増加となり、専門的・技術的職業は5.7%(55人)増で2か月ぶりの増加となった。

“パートを除く常用求職者”を5歳刻みの年齢階層別(11区分)にみると、30歳～34歳は16.6%(123人)減、40歳～44歳は8.4%(43人)減、20歳～24歳は9.9%(74人)減で、いずれも2か月連続の減少となった。一方、19歳以下は7.8%(12人)増で9か月連続の増加となり、45歳～49歳は9.7%(41人)増で3か月連続、50歳～54歳は6.4%(27人)増で2か月連続のそれぞれ増加となった。

【職業紹介状況】は、紹介件数が10.2%減の12,426件となり、就職件数は14.0%増の2,804件となった。うち、パートの紹介件数は4.1%減の3,282件となり、就職件数は14.3%増の914件となった。就職率(対新規求職者)は、5.4ポイント上回って39.8%となった。
 本県の労働市場は、有効求人倍率(季節調整値)が0.49倍となり、対前月差では0.03ポイント、前年同月差では0.11ポイント上昇し8か月連続の上昇となった。有効求職者数が0.1%の微増に止まり、有効求人数が6.8%増加したことから改善につながった。
 新規求職については、前年同月差1.6%減で6か月ぶりの減少となった。求人増や先行不安等により無業者や在職者の求職者が依然増加しているが、事業主都合離職者や自己都合離職者の減少が続いている。一方、新規求人は主な産業でみると、サービス業や建設業など久しぶりに前年比減少に転じるものもあったが、求人占める割合の大きい卸売業、小売業、医療、福祉等の増加が寄与し、全体では16.5%増で8か月連続の増加となった。有効求人倍率は低い水準ながらも徐々に改善しているところであるが、今後については、全国の景気が足踏み状態となっていることの影響等に引き続き注意が必要である。